

「学校関係者評価(学校運営協議会)」評価書

朝霞第(九小)学校 氏名(学校運営協議会集計)

柱	No	評 価 項 目	評 価				評価及び改善策として考えられること(要旨)
			A	B	C	D	
学校の組織運営	1	学校は、学校教育目標達成に向けて、全教職員で組織的に取り組んでいる。	6	3		A	・チーム「朝九小」として教職員が一丸となって取り組んでいる。 ・校長先生を筆頭に先生方が協力して取り組んでいる。 ・校長を中心に教職員が一丸となり、教育目標を熟知して、その目標達成のため、児童を導いている。 ・学校だよりや授業公開、校内掲示などで開かれた学校の推進に努めている。 ・小規模校だからこそ先生方の連携がとれていると感じる。 ・教育目標の中に幼保との取組も強化した方がよりよい。
	2	学校は、安全・安心に配慮し、危機管理体制を整えている。 (※いじめの未然防止と早期発見、再発防止等の組織的な対応を含む)	6	3		A	・いじめ問題には、早期から対応していることで解決できている。 ・校舎増築工事関係で、例年以上に安全面に神経を使い、気苦労が大変だったと思うが、完成した新校舎を見学した児童の喜びの笑顔が想像できる。 ・地域の協力と連携があり危機管理体制を整えている。 ・児童の肯定的な意見が多い。 ・「1、2年前より「〇年生の〇〇という子が～」と相談されたり話を聞いたりすることが減った。 ・九小前の道路は今、建設中の物流センターが完成すると、さらに交通量が増えるため、今後交通安全についての指導が必要。 ・不審者への対応について、学校の対策のおかげで児童が理解してきた。
基礎学力の定着	3	児童生徒は、教職員の指導により、基礎学力を身に付けている。	5	4		A	・学力向上の取組が功を奏し成果が見られている。 ・授業に児童が積極的に参加していることで、学校全体としても学力が上がっている。 ・学習指導要領に則した基礎の指導がされている。 ・もう少し児童の自主性が育つといい。 ・教員の話しはよく聞いているようだが、家庭での取組も期待する。 ・児童各自が努力をしている。 ・基礎学力を身に付けていないとこれから先で苦勞なくはないため、遅れ気味の児童のサポートもしっかりしてもらっている。 ・学力の差が気になるところ。 ・放課後も、課題等の指導をしてくれている。
	4	学校は、学力向上をめざし、児童生徒の実態に基づいて授業改善に努めている。	4	5		B	・ICTを活用した授業、グループワーク等、色々と工夫された授業をしていて、児童も積極的に参加していてよい。 ・以前よりタブレット端末も活用されている。 ・児童の心をひきつけるようなやる気を起こす魅力ある授業に努めている。 ・できる子と追いつかない子の差をどのあたりでうめているのか気になる。 ・児童に合わせて興味を持つ授業を模索している。 ・テレビモニター等を上手に活用し、楽しい勉強、興味がわく授業をしている。
規律ある態度の育成	5	児童生徒は、生活のルールに基づき、発達段階に応じた「規律ある態度」を身に付けている。	4	4	1	B	・全校として進んでいる。 ・各学年の指導の他に、教員の負担が大きい中、全教職員間で情報を共有しあっている。 ・教員が適切に指導している。 ・教員任せではなく、家庭の理解・協力が必要。 ・様々な個性を持つ児童がいる中、基本的な生活習慣が身につくよう努めている。 ・学年が上がるとつれて責任のある行動をしている。 ・下級生が上級生を見て身についていく。 ・学校の外でも児童に接するときに通してこれることが多い。 ・登下校や、様子をみていないと気づいたり、車道に広がって歩いていた児童が高学年にわりといる。 ・恥ずかしい気持ちも強いのか、もっと挨拶ができるとお互いに気持ちよくなる。
	6	学校は、児童生徒の実態把握に基づき、規律ある態度の指導の工夫・改善に努めている。	6	3		A	・道徳の授業だけではなく、先生方が自らルールを守る姿勢や挨拶することなどを、日々児童に見せていることが児童達の姿に反映されている。 ・学校は組織的に取り組み、効果を上げている。 ・先生方は熱心に取り組んでいるが、家庭との連携が必要。 ・学校の指導だけではなく、家庭での協力も必要。 ・先生によって、差があることもあるが、全体ではとても児童を見てくれている。 ・児童に向き合い指導している。 ・一人ずつの環境に合わせて対応している。
健康・体力向上	7	児童生徒は、体育の授業や運動部活動、外遊び等の運動に意欲的に取り組んでいる。	5	4		A	・体育の授業を度々見かけるが、児童が楽しそうに取り組んでいる。 ・体を動かすのが不得意、嫌いという子もいる。失敗してもチャレンジしてきた喜びや運動の楽しさを味わってもらいたい。 ・個人差はあるが、休み時間に外で体を動かす児童が多くなる。 ・何事も技術向上には時間がかかるので、辛抱強く指導している。 ・校庭で遊ぶ児童が多い。休み時間も外遊びをしている子がたくさんいる。 ・校舎増築工事が終わり、校庭が元のように広くなったので、外遊びなど盛んにおこなわれている。 ・ボール遊びをしたい児童が、外遊びを楽しみながら運動している。
	8	学校は、児童生徒の体力を高めるため、意図的に向上策を講じている。	6	2	1	A	・苦手意識のある児童には、いろいろなやる気を起こすようにあれこれと工夫して、褒めて、認めて、励まし伸ばしていくよう努めている。 ・定期的に体力測定を行っているのもよい。 ・体力テストの結果を見ると頑張っていることがわかる。 ・外遊びやボール投げ、鉄棒教室など計画的に取り組んでいる。 ・いろいろな体育の教室やレクがあつて工夫していることがわかる。 ・ボール投げや鉄棒の教室等で、苦手な児童が「できる」を感じることができるのは、よい取組だと思う。
連携	9	学校は、保護者や地域と連携し、その教育力を学力や体力の向上に生かしている。	4	5		B	・学校保護者連絡会を主体として、カインズやJAあさか野、近隣農家等の協力を得て、・学校、保護者、地域が一体となり協力合うことで、学校内での学びの他に、人とのふれあいにより、五徳も刺激され社会性を育ててもらっている。 ・カインズとのサツマイモ作りやマルシェ等はよい取組だと思う。(サツマイモプロジェクト) ・カインズとの連携で販売、栽培を行っており素敵な取組である。 ・カインズとのつながりは定着したが、保護者とのつながりも生かされればと思う。 ・学校応援団(けやき団)としては、先生方との連携不足を感じている。 ・校外での活動は、企画から実施まで先生方の苦労は大変だと思うが、今後も続けていってほしい。
	10	保護者や地域は、学校と協力し合い、児童生徒の安全指導・健全育成を推進している。	4	4	1	B	・学校保護者連絡会の見守り隊や地域の方々の協力で、安全に登下校できていると思う。 ・教職員の働き方改革が問われている中で難しいことではあるが、地域との連携をさらに深めていくことが大事。 ・朝九小は、(学校だより等で)他校より地域の連携が深いと感じている。児童が周囲のたくさんの方々に見守られていることを肌で感じ、保護者や児童が安心して登校することができて素晴らしい。 ・カインズや地域の方の安全見守りの協力が得られている。保護者ももう少し積極的に。 ・カインズの協力は、児童の教育活動に貢献している。 ・特に地域との連携が素晴らしい。 ・ボランティアに積極的な保護者の方も多い地域である。下校の見守りに犬の散歩をする人など活用してはどうか。 ・学校保護者連絡会の見守りで登下校の安全の確認をしている。